

原油高騰に対する 対応策について



問 原油価格は、複合的な要因により史上最高値を示しており、短期連動が長期的な構造か予想できないが、このあたりを受けて生活関連に対する物価が値上がりしつつあるものと言われている。

灯油は生活必需品として欠かすことのできないものであり、ガソリン、軽油など石油製品も含めて町民生活はもとより、農業、運輸業などの産業活動や中小企業の経営への影響も懸念されるところである。

また、支障を生じていると思われる次の者に対し今後何らかの支援対策の考えがあるのか伺う。

- ① 低所得階層に対する福祉灯油の支援
- ② 中小企業に対する支援

町長 ①日常生活資金などに困窮した場合、幕別町勤労者福祉資金や幕別町社会福祉協議会の福祉金庫な

どの貸付制度を利用することができるとがでる。

町福祉課、商工観光課で相談も受け付けている。

②企業経営に係る運転資金として、幕別町中小企業融資制度を利用することができ。また、北海道でも中小企業総合振興資金融資制度を用意している。

「文字・活字文化振興法」による取り組みについて

問 文字・活字文化振興法が昨年7月に議員

立法により法制化され、施行されているが、背景には急速に進む国民の活字離れ現象にあると思う。

また、活字離れに歯止めをかける動きは、この法案以外にも朝の10分間の読書運動など、全国の多数の学校が参加する大きな流れになつていくといわれるが、幕別町の学校ではどのような

に取り組んでいるのか。

また、この法案は、国は勿論のこと地方自治体の責務であることを明記しているが、学校ではこの法案を契機に取り組んでいることなどについて伺う。

教育長 この法律の制定

を契機に学校教育で新たに取り組みを行っているものはないが、現状において、学校教育の基本は国語であり、国語の重要性は総合的な学力の向上や児童生徒が成長するための基本となるコミュニケーションを図るために必要不可欠であることから、これまでも教育課程編成の実施上も重くとらえ、読み、書きなどの基礎基本の定着を目指し、日々学習を進めている。

具体的には各小中学校では、ご質問の朝読書や漢字の書き取りなど、通常の授業時間とは違う時間帯を設け、一日のスタートを切るために大変良い効果がでている。

また教育委員会としても、町内の全教職員で組織する幕別町教育振興会を通じて、

書く力を向上させ、その作品を発表する場の提供のため毎年文集「ピラリ」を発行しており、児童生徒の詩や作文・読書感想などの創作の励みになつていく。

一方、図書館の業務とし

て、ブックスタート事業や読み聞かせなど就学前から本に親しむための基礎作りを目指して、幼児期から本に親しむ環境整備に取り組んでいる。



朝読書の様子(札内中学校)